

申  
2  
号

## 2022年度賃金引き上げ等に関する申し入れ 第1回団体交渉を行う!! (その2)

■ = 組合 ▲ = 会社

- 組合員の日々の努力があつてこそ、安全で安定した鉄道事業をつくり出し、会社の発展をつくり出してきた。
- JR東日本決算に大きく左右される財務構造であり、私たちの努力と奮闘が報われる決算ではない。
- 通期予想を下方修正した理由は何か。
- コロナ禍の中で、不安と恐怖の中で日々の生活と業務を行っている。その苦勞に報いるべきだ。
- 日々の生活が苦しい。生活向上分と物価上昇分を賃金引き上げの要素とするべきだ。
- 経営陣は、コロナの減収を理由にして何の還元もしない。
- 1人当たりの業務量が増加し、業務の質の変化と向上している。
- 定期昇給は毎年行うものだ。所定の昇給額は係数4だ。
- 退職・離職する社員が後を絶たない現実を目の当たりにしている。本体との昇給額の格差がある。是正するべきだ。
- エルダー社員の大量退職期と急激な世代交代の現実の中で人材流出に歯止めをかけるべきだ。

- ▲ 社員の皆さんにおいては、非常に厳しい状況の中でご尽力いただいたことに感謝申し上げます。
- ▲ 第3四半期決算が確定したところで、人件費の見通しを改めて行い修正となった。
- ▲ 感染防止の観点で公私ともに誠心誠意取り組んでいただいていることに感謝している。
- ▲ 社会全体として物価上昇として大きな受け止めだと認識している。
- ▲ 職場の声について、しっかり受け止めた。
- ▲ 長期的な人件費に影響するので、このような環境の中で実施については極めて慎重な判断が必要である。主張は受け止める。
- ▲ モチベーションの確保、人材確保は大切な部分であるとの共通認識である。

財務構造上コロナ禍における組合員・社員の努力が報われない決算である現実の中、職場の弛まぬ努力を一致！生活実感・物価上昇・労働密度が高まっているなどの労働実感・異常時対応・増収・コストカットの努力真摯に受け止める。人材流出を防ぎ確保することを労使の共通認識と一致するも…

会社

長期的な人件費に関わるため極めて慎重な判断となる

このような回答を繰り返す会社姿勢は認められない！

JR東労組に結集して、満額回答を勝ち取ろう！

